



第1背鰭の軟条が長く伸長し、背部が盛り上った巨大なオス。体色は環境に応じ著しく変化する。

ハゼ科 チチブ属

【全長】8cm

## チチブ

学名: *Tridentiger obscurus*

分布域

本州・四国・九州に分布する。

生息域

主に河口部・汽水湖の海に近い汽水域に生息する。



チチブの幼魚。全長約3cm

体形はやや太短い円筒形で体色は明褐色～暗褐色。産卵期のオスは全身が黒く変化する。成魚はオス・メスとも、第1背鰭の棘条が糸状に伸びる。ほほ部の白い明色斑は密に散在する。胸鰭基部の三日月斑は明褐色～白色で近縁のヌマチチブとの重要な識別要素となる。食性は雑食性で藻類や底生動物・小型の甲殻類などを食べる。産卵期は春～夏で石や岩の下面に卵を産み、オスが単独で卵を保護する。孵化した仔魚は一旦海に下り、全長10mm前後で汽水域に遡上する。

水槽での飼育は可能。海水を30～50%混ぜた汽水を用いる。気性が荒く単独飼育をお奨めする。餌は配合飼料や冷凍赤虫に慣れる。

在来種

汽水魚

※ 福井県内では、生息地・生息数とも多くない。近縁のヌマチチブは広範囲に生息するが、本種の生息環境は海に近い汽水域のみに限られる。